

下関鯨類研究室活動記録（平成29年4月～平成30年3月）

1. 調査研究活動

山口県を中心とする日本海に生息する鯨類の季節的分布変動の調査

山口県水産研究センターとの共同研究で、同センター調査船が行う定線観測調査に同乗して鯨類目視調査を行った（6月、11月）他、同センターより鯨類発見情報の提供を受けた。また、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学の漁業練習船耕洋丸の第67次航海に同乗し、青森港～下関港の間で鯨類目視調査を行った（7月）。

鯨類のストランディング（座礁・漂着・混獲）に関する調査

日本全国の海産哺乳類のストランディング情報を収集し、データベース化を進めた。平成29年度は464件の情報を収集した。2016年に収集された国内における鯨類ストランディング情報を下関鯨類研究室報告No5. に収録するとともに、ウェブサイト上でも公開した。鯨類研究室の収集発表したストランディングレコードは、水産庁が平成29年3月に公表した「海洋生物レッドリスト」で、掲載された小型鯨類29種のうち21種の評価に用いられた。

下関を中心とする近代捕鯨史の研究

長門市大日比地区で昭和期まで行われていたイルカ追い込み漁を調査し、「山口県長門市大日比地区のイルカ追い込み漁—昭和期の捕獲を中心として—」の題で、論文を下関鯨類研究室報告No5. に発表した。また近年の捕鯨を巡る動きについて情報を収集分析し、講義・講演活動に反映させた。

スナメリの調査研究

県内のスナメリストランディング2個体の調査を行い、標本を収集した。また文献調査などから最新の知見を集め、成果の一部を当研究室が主催する「鯨塾」第三期第10回で報告した他、北九州市立もじ少年自然の家が主催するイベントでスナメリの野外観察を指導した。

昭和時代の「鯨の解体ショー」に関する研究

昨年度に引き続き、国立国会図書館等の資料調査や聞き取り調査等で新たな情報の収集と分析に努め、成果の一部を当研究室が主催する「鯨塾」第三期第11回で報告した。

ノルウェーと日本の捕鯨に関する比較研究

国立民族学博物館の岸上伸啓教授が主催する海外学術調査「グローバル化時代の捕鯨文化に関する人類学的研究—伝統継承と反捕鯨運動の相克」の研究の一環として、国内小型捕鯨業の調査を北海道網走市で行い（11月）、同教授が主催する研究会にて、「日本の小型捕鯨業の歴史と現状」の題で発表を行った（2月）。また成果の一部を当研究室が主催する「鯨塾」第三期第9回で報告した。

2. 学会発表

漂着専門委員会報告；日本沿岸のストランディングレコード2016. 石川創、田島木綿子、石井雅之、山田格.
日本セトロジー研究会第28回（札幌）大会 2017年6月
日本の鯨類ストランディングとSNHの活動. 石川創. 日本セトロジー研究会第28回（札幌）大会特別講演会 2017年6月

3. 論文・出版物

石川創 (2017). 山口県長門市大日比地区のイルカ追い込み漁—昭和期の捕獲を中心として—. 下関鯨類研究室報告 5:1-17.
石川創 (編) (2017) ストランディングレコード (2016年収集). 下関鯨類研究室報告 5:33-58.
石川創 (2017). 月とマッコウクジラー鯨と、アメリカと、宇宙開発. いさな 19:2-7.

4. 講義、講演等

鯨塾			
第一回	世界と日本の鯨、山口の鯨		4月15日
第二回	鯨の進化と海洋への適応		5月13日
第三回	下関と鯨の歴史		6月10日
第四回	鯨の座礁（ストランディング）の不思議		7月8日
第五回	食としての鯨		8月5日
	夏休み子どもスペシャル2017 くじらは海のほ乳類		8月18日
第六回	現代捕鯨事情		9月9日（2回開催）

	第七回 月とマッコウクジラー鯨油から見た捕鯨史ー	10月14日
	第八回 日本の南極海調査捕鯨	11月11日
	第九回 ノルウェーの捕鯨と日本の捕鯨	12月9日
	第十回 スナメリとミンククジラ	1月13日
	第十一回 昭和期「鯨の解体ショー」の記録	2月10日 (2回開催)
	第十二回 捕鯨と動物福祉	3月10日
講義	梅光学院高等学校「地域伝統」授業「下関の食文化」	6月7日・14日
	明治学園高等学校グループ学習支援	6月16日
	明治学園グローバルキャリア教育	10月6日
	もじ少年自然の家「もじの海を探検！スナメリウォッチング」	10月21日
	東亜大学医療学部健康栄養学科「下関と鯨の歴史」	1月26日
講演	福岡楽鯨会「鯨の生態～海に戻った哺乳類」	4月25日
	福岡楽鯨会「鯨食文化と現代の捕鯨事情」	7月5日
	下関夜話会「クジラは資源か神の獣か」	7月10日
	衛星データ解析技術研究会「山口県周辺の鯨」	9月26日
	福岡楽鯨会「鯨の座礁（ストランディング）」	10月10日
	福岡楽鯨会「月とマッコウクジラー鯨油から見た捕鯨史ー」	1月24日
	北九州市立いのちのたび博物館「くじらは海のほ乳類」	2月11日
	国立民族学博物館公開共同研究会	2月12日
	「日本の小型沿岸捕鯨の歴史と現状」	

5. その他

(論文査読)

2本

(出演)

映画「おクジラさまーふたつの正義の物語ー」上映会トークイベント。長門10月29日・下関11月12日
 演劇「くじらと見た夢」トークショー。東京11月24日

(記事)

石川創. ツノシマクジラを知っていますか？ ふるさと下関応援団機関紙「下関人」16: 5.
 中野由紀昌. 下関の山の上を泳ぐ“伝説のクジラ”!? 思わず二度見する珍百景. 関門珍百景. (取材協力)

(ウェブサイト)

2016年収集ストランディングレコード、鯨塾案内、研究報告書発行情報、活動報告等を掲載。

<http://whalelab.org>

下関鯨類研究室（公益財団法人下関海洋科学アカデミー鯨類研究室）は、 鯨の出張講義を提供しています。



下関鯨類研究室は、「くじらのまち日本一」を目指す下関市を学術面で支援するため、市が公益財団法人下関海洋科学アカデミーに業務委託をして設立された研究室です。その業務は、研究活動と教育普及活動の二本立てとし、教育普及活動では、市の動物でもある鯨について多くの方々に知ってもらうことを目的としています。

小中学校における総合学習や課外活動、高校・大学の教養講座、企業の研修や市民講座等の場に講師が無料*で伺いますので、鯨を学ぶ機会をぜひご活用ください（*市外遠方の場合、原則として交通・宿泊費等の実費ご負担をお願いしております）。

- * 講義にはパワーポイントを用います。
- * 講義時間は1講座に1時間～1時間半を使います。
- * 講義内容には以下のテーマを始め、多彩に準備しています。また、ご要望に応じて内容をアレンジいたしますので、ご遠慮なくご相談ください。

「鯨は海のほ乳類（鯨ってどんな生物？）」・・・小学生～大人向け
「スナメリの話」・・・小学生～大人向け
「鯨類のストランディング（座礁・漂着）」・・・中学生～大人向け
「捕鯨問題を考える（現代捕鯨事情）」・・・中学生～大人向け
「食としての鯨（日本人はなぜ鯨を食べるのか）」中学生～大人向け
「関門鯨学（関門地域を中心とする捕鯨史）」・・・中学生～大人向け

お問い合わせ、お申し込みは、下関鯨類研究室 whalelabo@gmail.com

TEL : 083-250-8307 FAX : 083-250-8327

担当：石川までご連絡ください。